

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

177

2013
December



特集 同志社大学 ここがイチバン!

対談 株式会社村田製作所・村田恒夫社長 × 村田晃嗣学長

●同志社人訪問

歴史小説家 澤田 瞳子さんに聞く

『ONE PURPOSE』は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

特集

同志社大学 ここが、イチバン!



2

学長対談



「京都」「人」「産学連携」を語る。

株式会社村田製作所・村田恒夫社長×村田晃嗣学長

8

ゼミ探訪 学びの時間

経済学部 宮澤 和俊 ゼミ

11

同志社の研究は今

体力医科学研究センター 石井 好二郎 スポーツ健康科学部教授

13

来年度就職を目指す皆さんへ

15

CAMPUS NEWS

ハリス理化学館同志社ギャラリー開館／京田辺キャンパス礼拝堂の建設について／熊本キャンプを開催／公式facebookページができました！／今年度の司法試験結果について／本学教員の執筆図書紹介

17

INTERVIEW ～同志社人訪問～

歴史小説家 澤田 瞳子さんに聞く

20

MY JOB, MY LIFE ～シリーズ 私と「仕事」～

・森田 大児さん(2005年 工学部電気工学科卒業)

・伊藤 円さん(2001年 神学部卒業)

23

ANNOUNCEMENT

25

MY PURPOSE

「第18回全日本高校・大学生書道展」で大賞受賞～結果に驕ることなく、人の心に届く字を書いていきたい～氏原 令賀さん(心理学部 3年次生)

27

表紙の情景 [良心館ラーニング・コモンズ]



日本最大級の規模を誇る「良心館ラーニング・コモンズ」は、情報を知識に、知識を創造に変えていく空間。さまざまなヒト・モノ・コト・情報と出会い、それらを仲間とともに議論し展開していくことで、新しい学びの可能性を生み出していく。

1日にのべ約3,500人の利用者があり、同じ学びの場ではあるが、図書館とは違った賑やかな空間を創り出している。

ラーニング・コモンズにはアカデミック・インストラクター他、専属のスタッフが常駐しており、学習についての様々な相談にのっている。



特集

同志社大学 ここが、イチバン!

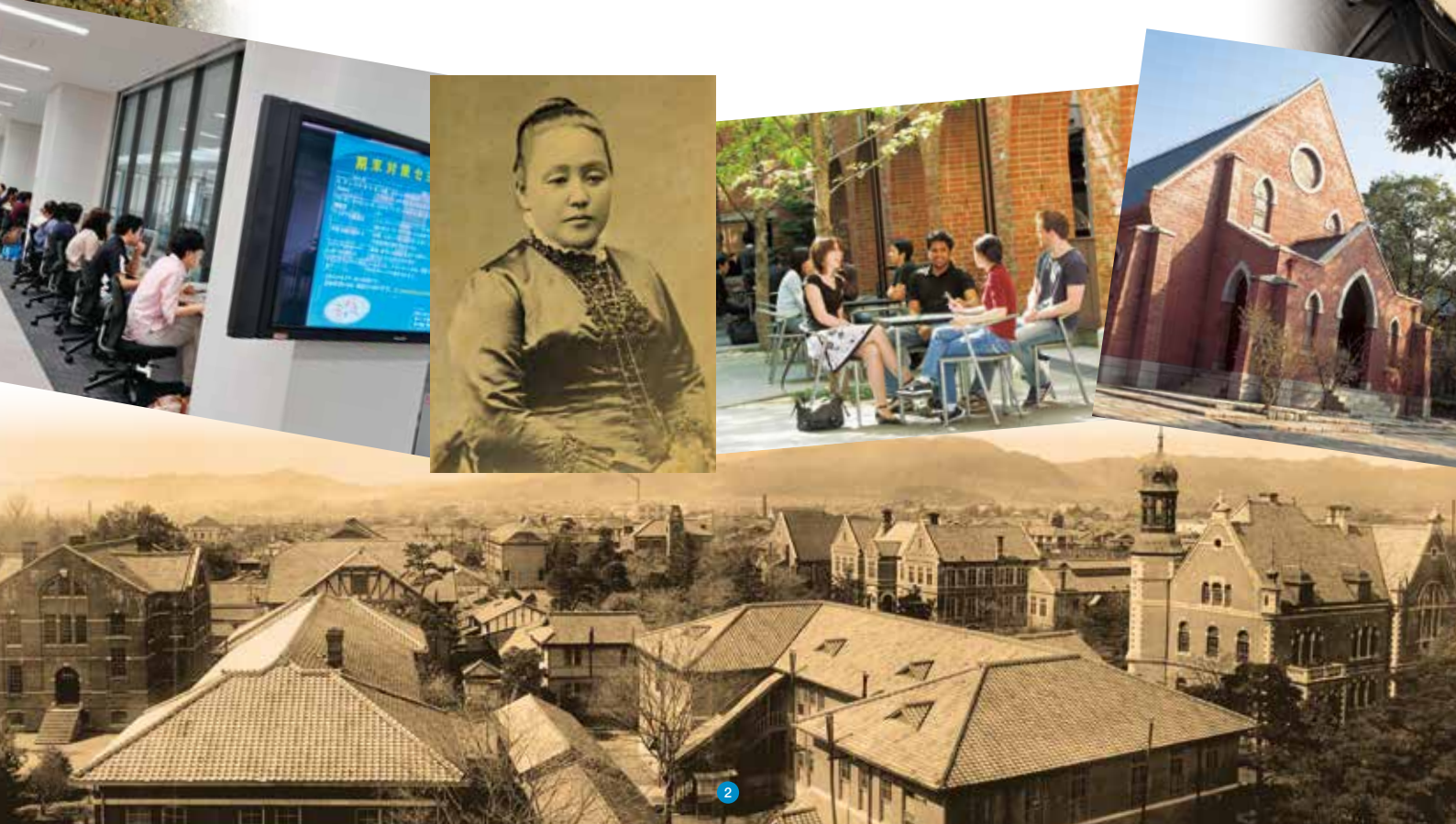
同志社大学は、数ある大学の中でも、在学生・卒業生・関係者の方々の愛校心が強いことで知られている。

創立者・新島襄の精神が息づく歴史ある今出川キャンパス、

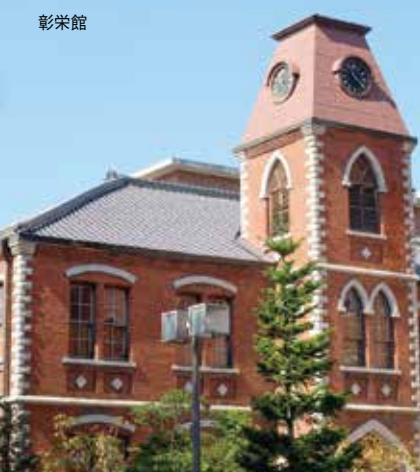
最先端の教育・研究施設が結集する学術研究のニューフロンティア・京田辺キャンパス、

さらに、その教育理念から幅広い人間力を育む学びのシステムまで、同志社大学が誇りとするものは数多い。

今回の特集では、教職員を対象としたアンケートをもとに、同志社大学のさまざまな「イチバン」を取り上げた。

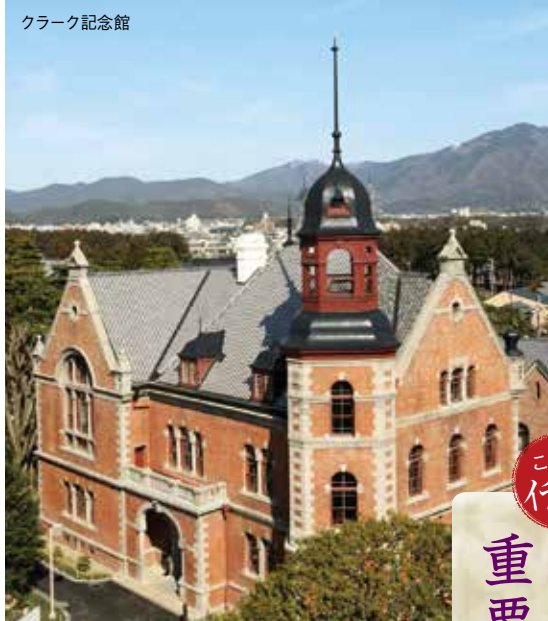


彰栄館



年竣工の「礼拝堂（チャペル）」。日本にあるプロテスタント派の煉瓦造の礼拝堂では、現存する最古の

クラーク記念館



重要文化財

ここが
イチバン

明治時代以来の歴史を刻む歴史的建造物がある一方で、国内の大学でも随一といえる最新・最先端の設備が整う。キャンパスには伝統と革新が渾然一体となっている。

キャンパス編

礼拝堂



烏丸通の西門から今出川キャンパスに足を踏み入れると、美しい赤煉瓦の建物が建ち並んでいる。門を入ってすぐ左手に建つ時計台のある建物は、1884（明治17）年アメリカンボーイから7500ドルの寄付を得て建てられた、京都市に現存する最古の煉瓦建築物「彰栄館」。続いて、1886（明治19）

もので、外観はアメリカン・ゴシック調の鉄板葺き。急勾配の切妻屋根が美しい。隣接して建つ「ハリス理化学館」は1890（明治23）年、理科教育を目指した新島襄の情熱に応えたアメリカの実業家J・N・ハリスから10万ドルの寄付を得て、「ハリス理化学館」（理工学部の前身）として建てられた。



1930年頃の同志社

は同志社のシンボリック的存在である。

1887（明治20）年、同志社最初の図書館「書籍館」として竣工した「有終館」と合わせ、こ

クラーク夫妻の寄付により、亡くなった息子のメモリアルホールとして造られた。ドイツのネオ・ゴシックを基調とする重厚な建物で、天を突く尖塔

れら5棟の建物はいずれも国の重要文化財に指定されている。

有終館



「デイヴィス記念館」を中心に、北側に硬式野球場やゴルフ練習場、西側に陸上競技場、サッカー場、ラグビー場などの各種グラウンド、南側にはテニスコートなど、広大な敷地に充実したスポーツ施設を展開する京田辺キャンパス。なかでもラグビー場には、インフィールドにFIFA(国際サッカー連盟)の定める品質基準「ツースター」に準拠した、ドイツポリタン社製のロングパイル人工芝を敷設。過酷な使用条件下での耐久性とラグビー競技における足元の負荷などの安全性が極めて高く、選手のパフォーマンスとコンディション



を専門的立場から扱う学部を有する大学としてふさわしい施設に生まれ変わったのが、「デイヴィス記念館」地階のトレーニングルーム。有酸素系マシン21台、ケーブル系マシン28台、フリーウェイトラック10台、測定機器その他を新たに備え、初心者から上級者まで幅広い利用者に対応できるバランス型のトレーニングルームとなった。

1981年に開通した京都市初の市営地下鉄路線・烏丸線。JR京都駅を中心として、京都市内を南北に貫く基幹路線に設けられた今出川駅を地上へ上ると、そこが今出川キャンパスだ。昨年10月に誕生した新校舎「良心館」は、地下1階で今出川駅に直結。アクセスはより便利になった。今出川通を挟んで南には、深い緑に包まれた京都御苑が広がり、まさに京都の中心に位置するといっている。



ここがイチバン 体育施設の充実

に最大限の配慮がなされている。陸上競技場も、ウレタン塗装の走路を備えた全天候型で、(財)日本陸上競技連盟が定める第3種公認競技場に認定されており、トラックの周囲には傾斜走路や外周走路、約1000席の観覧スタンドも設けられている。

また2010年4月、健康とスポーツを専門的立場から扱う学部を有する大



薩摩藩邸跡碑(今出川キャンパス)

ここがイチバン 歴史ある土地

今出川キャンパス、室町キャンパス、新町キャンパス、さらに最新の烏丸キャンパスからなる土地は、鎌倉中期に貴族の邸宅が建ち始め、室町時代には足利義満の「室町殿」や近衛家の別宅が、江戸時代には薩摩藩邸

が置かれるなど、長きにわたって日本史の表舞台だった場所。そして、京田辺キャンパスのある地には、仁徳天皇や継体天皇の宮に関わる伝承、竹取物語にちなんだ地名や逸話が多く残されている。室町時代には南山城で最も繁栄したところで、一休禪師ゆかりの「酬恩庵一休寺」などがあり、京都市内とは趣の異なる歴史文化が今も色濃い。

ここがイチバン 今出川キャンパスの交通

1981年に

開通した京都市

初の市営地下鉄

路線・烏丸線。J

R京都駅を中心

として、京都市内

を南北に貫く基

幹路線に設けら

れた今出川駅を

地上へ上ると、そ

こが今出川キャン

パスだ。昨年10月に誕

生した新校舎「良心館」は、地下1階で

今出川駅に直結。ア

クセスはより便利に

なった。今出川通を挟んで南には、深い

緑に包まれた京都御苑が広がり、まさ

に京都の中心に位置するといっている。

その他の声

- ・歴史のある建物が多く、大学全体が趣のある雰囲気であるところ
- ・立派な建物が多い
- ・(重文や登録有形文化財、新校舎等)キャンパスの緑とレンガが美しい
- ・重要文化財で授業が受けられるところ
- ・歴史的建造物・重要文化財が教室として現在も使われていることがすごい口マンを感じます
- ・卒業生はチャペルで結婚式ができる
- ・緑に囲まれていて歩いているだけでいやされる
- ・歴史と伝統ある風格と、最新の洗練が見事に融合したアカデミックで品位のあるキャンパス
- ・伝統と革新のある京都の中心地にあること
- ・古典文学の舞台、京都御所の隣
- ・京都の名所に行きやすい
- ・京都にいると日々感じられる
- ・百人一首を編んだ藤原定家の子孫、冷泉家の隣
- ・広大な自然の多い京田辺キャンパス
- ・伝統ある同志社ラグビー
- ・地下鉄の駅の上に大学がある
- ・(学会の事務局や会場校をいつも引き受けていますが、依頼される条件のひとつは駅からもっとも近い大学だということです。)
- ・びわこリトリートセンターの思いがけない食事の美味しさ

教育・研究編

「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」の基本理念に基づいた同志社大学の教育の独自性。さらには先駆けて進む国際化も、多くが「イチバン」と推す。

ここがイチバン

ラーニング・コモンズ

今出川キャンパスに誕生した新校舎

「良心館」のルーセントプラザ吹き抜けに面する2・3階。総面積約2550㎡

の開放的な巨大空間は、従来の「学習は教室の中のみ」という発想を超え、学生たちが「自ら学ぶ」ことを目的とした空間だ。学生の学びを支援する役割を持った「ラーニング・コモンズ」としては、国内の大学で最大級の規模を誇る。

フロア構成は、2階の「クリエイティブ・コモンズ」が交流と相互啓発の空間。プレゼンテーションやシンポジウムの空間として使えるプレゼンテーションコート、カジュアルなグループ学習が

できるインフォダイナー、グループワークエリアなどからなり、いわば知識や学習成果をアウトプットする場だ。海外留学を目指す学生のために、留学コーディネーターによる情報提供コーナーや、実際に留学生と交流し、実践的な

会話を培うグローバルビレッジも用意されている。

一方、3階の「リサーチ・コモンズ」は、アカデミックスキルの育成空間として、知識をインプットする場。レポート作成などの学習支援を行うアカ

デミックサポートエリアのほか、グループスタディールーム、マルチメディアラウンジなどで構成され、多様なグループ学習に対応する。講習会などに利用できるワークショップルームや最新の印刷メディアを提供するプリントステーションなども備え、様々な面から学生の学びをサポートする。



ここが
イチバン

グローバル化推進

同志社大学は、大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業(グローバル30)に採択され、東京大学、慶應義塾大学等とともに、日本を代表する国際

化拠点大学である。中間評価では、全13大学中唯一、最高のS評価を得て、事業最終年度である今年度の留学生受入目標2200名も達成する見込みである。



事業期間中、英語のみの授業で学位取得可能なプログラム構築、海外における入学試験実施、海外拠点設置(現在英国、韓国、中国、トルコ等7拠点)、生協食堂でのハラル食提供等、留学生の受入を促進するための取り組みを積極的

に推進してきた。

これに加えて、昨年度、日本人学生の留学促進・外国語能力向上を主目的としたグローバル人材育成推進事業(Global Japan)の全学推進型にも採択された。グローバル30事業を通じて構築したグローバルな学内環境を基に、各種留学プログラムの充実や語学力向上を目的とした正課科目や講座の新設、英語で提供される科目の日本人学生への開放等を通じ、今後留学の有無に関わらずグローバルな視点で活躍していく人材の育成を推進していく。

前述の通り、留学生の受入推進と共に本学学生の積極的な海外派遣を推進することで大学のグローバル化を更に

図る。正に本学教育理念の一つである「国際主義」の実質的な展開である。今後、受け入れた留学生と本学学生の交流機会を拡充し、多くの学生が国籍に関係なく、本学キャンパスで交流することで、相互理解の更なる進展が期待される。

その他の声

- 同志社大学が先導し、世界的展開が進む「世界学生環境サミット」
- 宗教の研究に強い
(キリスト教の大学なのに、ユダヤ教やイスラム教まで学べる)
- 宗教的教育をもとにした「良心教育」

教養教育の充実

- メディア学科(旧新聞学専攻)は国公立にはない学科で、マスコミ等で活躍している人が多い
- 主体性を育てるPBL教育(少人数教育)

障がい者支援に力を注いでいる

- 日本において、アジアからの留学生が多いなか、同志社大学は欧米からの留学生も多い

- 留学生が多く、国際的である
- 教育の質保証

- 緑豊かで最新の実験設備が多い
- 京田辺キャンパス

キリスト教主義教育

ここが
イチバン

10年の滞米中にキリスト教的世界観を身につけた新島襄によって生まれた同志社大学は、キリスト教主義を教育理念としている。しかし、創立者の自由でグローバルな視点のゆえに、学生に宗教的価値観を押しつけはしない。あくまでもキリスト教的人間観に基づいて、1人ひとりの世界観、価値観を豊かに形成し

ていくことを教育の基本としている。神学部も牧師を養成するだけでなく、宗教を客観的にとらえ、人間、歴史、文化を広く深く理解することを目指す。したがって学生もまた多様性に富み、ミュージシャンや外交官、パイロットなど、個性豊かな卒業生が多い。キリスト教系、仏教系、神道系など、多くの宗教系大学

宗教系大学 学部学生数

大学	学生数
1 同志社大学	25,584
2 関西学院大学	23,116
3 立教大学	19,469
4 青山学院大学	18,040
5 龍谷大学	17,922

2014年版大学ランキング(朝日新聞出版)より

の中で、学生数では同志社大学がトップであるのも、あくまでキリスト教は教育のバックボーンとして位置づけられているためだろう。

人物編

同志社大学でイチバンの人物といえば、いうまでもなく
創立者・新島襄とその妻・八重。
大河ドラマで一躍知名度が上がった2人に学生たちは――。

天野智博さん
〔経済学部3年次生〕



1年次に「建学の精神とキリスト教」という同志社科目を履修したことが、新島襄との距離を近くしてくれました。京都という仏教の歴史が色濃い町にキリスト教の学校を開いた新島襄。そこには教育で日本を変えたいという強い思いを感じます。新島の欧米的思考を取り入れた八重とともに、日本に古くからあった固定観念を打ち破った革新的な存在だったのだと、大河ドラマを見て改めて思いました。

単身国禁を犯してまでアメリカ

に渡った勇氣、前例のないことにチャレンジする精神、教育者としてどんな学生も大切にすることなど、新島襄という人はすごい人物だと思います。八重さんは、女性は一歩下がってという時代に、堂々と自分を貫いて生きた女性。どんなところにも信念を持ってまっすぐなところが、とても尊敬できます。女性だからといってあきらめなければならぬことはない、と教えてくれました。

奥田みりさん
〔政策学部3年次生〕



安永龍平さん
〔経済学部4年次生〕



同志社大学に入る時、新島襄の創設した大学だからという感情はありませんでした。しかし、入学後に読んだ資料などを通して、その偉大さを理解するようになりました。とくに様々な困難に立ち向かい、自分の意志を貫いたことは、大河ドラマを見て印象深く心に残っています。ちょうど自分自身悩みを抱えていたこともあったので、前向きに生きて行こうという勇気を与えてくれました。

私と変わらない年齢で、命を懸

けてまで自分が成し遂げたい目標を持って挑戦した新島襄の姿勢は、すごいと思いました。自分の理想とする教育を実現させるために、人生のすべてを捧げた教育者としての生き方は、簡単に真似のできるものではありません。八重さんは、新島襄とは違った意味で、自分の信念を守り通した人です。私も2人のように、何にでも意欲的に挑戦していきたいと思うようになりました。

沖本成実さん
〔経済学部4年次生〕



「京都」「人」「産学連携」を語る。

町工場からスタートし、チップセラミックコンデンサでは

トップシェアを誇る世界有数の電子部品メーカーとなった村田製作所は、

その成長の過程に大学との緊密な連携があった。

同志社大学も近年、産業界との関係を深める多彩な研究センターを

開設しているほか、京都の町おこしや地域再生に関わるなど、

理系・文系の枠を超えて産学協同事業を

積極展開している。

同じ京都で生まれ、発展してきた

村田製作所と同志社大学。

奇しくもトップは同じ村田姓を持ち、

経済学部、法学部と学部は違っても、

ともに同志社大学の卒業生。

2人の語らひは、京都にある意義から

グローバルな時代に必要な人材論、

そして産学連携への期待に及んだ。



1974年同志社大学経済学部卒業。同年、村田製作所入社。1983年株式会社出雲村田製作所常務取締役工場長、1988年ゲシュフツ・ヒューラー（ドイツ）を経て、1989年村田製作所取締役就任。1991年常務取締役、1995年専務取締役、2003年代表取締役副社長。2007年より現職。



京都で生まれ育ったものとして

村田学長（以下学長） ●今回は同じ村田同士のことで対談をお願いすることになったわけですが、村田製作所も同志社大学も、共通するのは京都にあることです。御社をはじめとして京都には名のあるベンチャー企業が存在していますが、その特徴の1つはモノづくりに強いということです。一方、大学は人づくりを担っている所であり、京都市は人口145万人のうち1割を大学生が占めています。38の大学があり、政令指定都市の中でも最も大学の数が多いのが京都です。昔からスチューデントフレンドリーで学生にとってはやさしい町、学生という人づくりに適した

町です。そんな京都に、モノづくりの企業と人づくりの大学が一緒にある。そのこと自体に大きな意味があると、私は思っています。
村田社長（以下社長） ●当社もモノづくりを得意とする企業だと自負していますが、京都には伝統産業が根付いており、それがモノづくりを究めるといふ文化がしっかり定着している背景ではないかと思えます。当社の電子部品はセラミックを焼成加工しますが、創業のころ、開発にいたるまで伝統産業の清水焼から色々なヒントを得ていたようです。
学長 ●アルファベットでKYOTOと書けば、おそらく世界でもある程度教養のある人なら、それが日本の京都という町であることを知っているでしょう。国際的に知名

度の高い町にあるということは、大学にとっても企業にとっても無形のアドバンテージになっています。

社長 ●当社は海外との取り引きが多いので、外国のお客様が訪問される際、会社が京都にあると言えは大変喜ばれます。京都から来たと言っていると、それだけで歴史と伝統を感じていただけます。また、京都は進取の精神に富み、明治時代から新しいものをどんどん取り込んでいくという気風がありました。伝統を引き継いでいく一方で、新しいものに果敢にチャレンジする。そういう土地柄がいろんなベンチャーを生んだということでしょうね。

グローバル人材に必要な資質とは

学長 ●そうした京都の町にあるということも1つの要因ですが、同志社大学の学生の特徴に多様性ということがあります。非常に多様なバックグラウンド、関心を持った学生が集まっていて、それが同志社大学の魅力にもなっています。近年、経済界ではグローバル人材を育成しなければならないということが盛んに言われるようになってきました。社会のグローバル化が進み、少子化の問題もあって、大学にも企業に入ってくるグローバルに活躍できる人材を求められるようになってきています。ただ、一口にグローバル人材と言っても、明確な定義があるわけではないが、それだけではグローバル人材とは

は言えません。

私はグローバル人材の重要な資質として、まず多様性に対する感性、異なる価値観や文化に対する感受性、それらに共感する力が必要だと思っています。同時に、多様な中にも必ず普遍的な価値観がありますから、それを追いつめる探求心も必要です。そして3番目に大事なものは、常に自分とは何かと問いかけることです。同志社大学とは村田製作所とは、京都とは、そして日本とは何か。そうした自己についての理解や知識がないと、外国の人々と正々堂々、自信を持って交わっていくことはできません。その意味ではアイデンティティがしっかりしていないといけないのですが、時代の流れの中で大学も企業も、町や国も変わっていきます。そこでは絶えず変化しながら育っていくアイデンティティを確認する再考力が重要です。共感力、探求力、再考力、この3つがグローバル人材に必要な資質だと、私は思うのです。
社長 ●私は大学を卒業して半年後、ニューヨークに赴任しました。日本企業としては非常に稀有な例なのですが、ニューヨークにあった小さな町工場を買収し、そこへ出向することになったのです。社会人になっていきなり、ものの考え方も文化も価値観も違う環境に放り込まれたことで、否応なくそこに合わせていかざるを得ませんでした。そこで何とか適応していったのは、自分というものをしっかり持っていたからだと思ひ

「京都」「人」「産学連携」を語る。

同志社大学学長 村田 晃嗣

1987年同志社大学法学部卒業。1995年神戸大学大学院法学研究科博士課程(前期課程)修了。同時に、フルブライト奨学生として米国シヨージ・ワシントン大学大学院博士課程(政治学)留学。1998年博士(政治学)学位取得(神戸大学)。広島大学総合科学部専任講師、助教授を経て、2000年同志社大学法学部助教授、2005年同教授。2013年より現職。

大学と企業の新たな交流を

学長●先ほどグローバル人材として3つの能力が必要だと申し上げましたが、もう1つ大事なのがコミュニケーション力です。単なる外国語の会話能力ではなく、その言葉の背後にある文化や社会を理解するという

ことです。それは外国人とのコミュニケーションに限りません。日本の中にも地域によって実に多様な文化や社会の差異があり、そうした地域間でコミュニケーションする能力、そして、少子高齢化が進んでいく中で世代間のコミュニケーション力です。そういう能力も、学生たちには大学時代にしっかりと身につけてほしい。

社長●当社はかねてから海外展開を積極的に進めてきましたが、特にいま海外での「モノづくり力」を強化しています。そこではどのように現地のメンバーが参画し、いかに現地に合ったモノづくりを根付かせていくかが大切になってきます。そのために、いろいろな文化を理解しながらコミュニケーションできる能力はとても大事です。私は若い時からよく一人旅をするのが好きだったので、一人で旅をしていると、いろいろな人々と出会い、様々な文化を学ぶ機会が多い。勉学はもちろん大切ですが、そうしたいろいろなことを知り、学ぶために、学生のみなさんにはぜひ学生時代に自由な旅を経験してほしいですね。

学長●最後に、大学と企業との連携についてですが、今、ほとんどの大学が産学連携に取り組んでいます。同志社大学にもリエンゾオフィスというセクションがあり、多彩な研究センターの活動など様々な形で行っています。昔であれば、大学が「知の拠点」として優位に立っていましたが、現在は必ずしも大学が常に研究の最先端を走っているというのではなく、分野によっては企業がはるかに先端的なことを手がけていることがしばしばあります。したがって、今後は大学と企業それぞれの特徴を活かしながら、お互いに補完し合える組み合わせを考え、いく必要があります。加えて、産学連携といえど、理系に集中しがちですが、実際には文理融合した部分や人文社会科学的な知識

を要するところも少なくありません。その意味で文系を基軸としたわれわれのような大学が、研究者のレベルだけでなく、大学院生や学部生がインターンという形で入っていただく、協力していけることはたくさんあると思います。

社長●学生のみなさんは企業の人間と違った視点を持ってもらえるでしょうから、お互いに学ぶところは少なくありません。ぜひそういう交流の機会を広げていきたいと思っていますね。とくに同志社大学は、教育の精神の1つに自主性を重んじるということがありますので、そういう自由な環境で育った学生は、企業に入っても十分に活躍しているだけのもっと期待しています。



豊かな想像力で 因果関係を分析し実証する。

経済学部
宮澤和俊ゼミ

3年次の夏合宿で

自身の方向性を定める

1891年開校の政法学校理財課を前身とする経済学部。神学部、文学部、法学部とともに、1948年の新制大学開校時の4学部を構成、同志社大学の礎を築いた歴史ある学部だ。

経済学部のゼミは「理論を学ぶ」「政策を学ぶ」「歴史を学ぶ」の3方向に大別され、宮澤和俊教授のゼミは「理論」を学ぶの方

向としている。テーマは「公共経済」だ。社会資本とは何か、日本の公共投資は過大なのか、規制緩和は万能薬か、公共料金はどのように決められるのか、高齢化社会にどのように対応すべきか、所得格差は拡大しているのか、地方分権の功罪は何か…。現実 に即した公共経済の課題を理論的、実証的に研究していく。

ゼミは2年次の秋学期から始まり、4年次までの2年半、段階的に続く。学生は

まず2年次の秋学期に自身の関心事や卒業後の進路に応じてどのゼミに入るかを選択。2年次では、それぞれのゼミのテーマについて基礎的な知識を獲得することと併せ、個々の研究テーマに即した研究の基本的な技法を習得する。宮澤ゼミでは、テキストを使って公共経済についての理論を学ぶことがスタートだ。

テキストで理論を学び、そ

の内容をゼミの授業の中で報告する形が、3年次の春学期まで続き、夏休み期間中に行う夏合宿がひとつの分岐点になる。「合宿では各自が関心のあるテーマでデータを集め、回帰分析という統計の手法で分析を行います。因果関係を予想してデータがその予想を裏付けているか、そうでないかを調べて報告してもらいます。そこでそれぞれの方向性が見えてくることになります」と

宮澤教授。

4年次になると、研究成果を卒業論文にまとめていくという具体的な段階に入る。5月に卒業研究の計画書を提出。これはどういうテーマで書くか、どういう章立てにするか、どんな参考文献を予定しているか、春学期中の報告のおおまかな予定を含め、A4の用紙1枚にまとめるもの。いうまでもなく4年次生は例年、就職活動とかねあいが問題になる。計画通りに進むかどうか、内定の出方次第になるのは否めないところだ。宮澤教授も「スムーズ



身につけた想像力が 社会でも役立つ

ゼミの2年半で学生に何を学び、どんなことを身につけてほしいか、宮澤教授に聞いた。

「もちろん経済学を学ぶというのは基本ですが、経済には限らない一般的な意味も

にいれば、4年次の夏合宿である程度の骨格は出来上がっているの、秋学期はそれを裏付けるような周辺データを集めたりするだけで十分卒論は仕上がるはずなのですが、それはあくまでも理想で、なかなかそうはいきません」と苦笑する。

宮澤和俊

【経済学部教授】

含めて言えば、1つは想像力です。例えば、データを集めて回帰分析をする場合でも、最初はこれとこれに因果関係があるのではないかとある程度自分で想像し、それに基づいてデータを集め裏づけしていく作業になります。つまりデータ収集の前の段階で想像力が必要になるわけです。ですからまず豊かな想像力を身につけてほしい。教室では一応経済学のロジックは学んでいるのですが、実際にデータを使って何かをするというときに応用するのがなかなか難しい。こういうロジックであればこういう因果関係があるのではないかというふうに、想像力で教室の勉強と自分の研究を結びつける能力を身につけてもらいたいですね」

そうした想像力は、社会に出てからいろいろな場面で役に立つはず、と宮澤教授は言う。

高い問題意識を持つ

ゼミ生たち

今回取材したのは3年次生のゼミ。夏合宿が終わり、自分の研究の方向性が定まりつつある段階だ。彼らは今、どんなことに最も関心を持っているのだろうか。13人のゼミ生を代表して4人に話を聞いた。

公共経済というテーマが示すように、宮澤ゼミは比較的公務員志望の学生が多い。増田裕人さんと川上之成さんもそうだ。



2人とも公務員を目指しているという通り、公共の福祉や税金に関心があるという。

増田さんは雇用や生活保護などの社会保障をどうするべきか、自分の目

で見ないとわからないと思います、実際に現場に足を運んだ経験を持つ。

「日雇労働者の人たちがたくさん集まる場所や生活保護を受けている人たちが多く住んでいる地区に行ったのですが、ニュースで見えるのではなく、自分の足で歩いて調べると、考え方が変わりました。それまでは苦しんでいる人たちは生活保護で助けてあげないといけないという感情が強かったのですが、ただお金を渡すのではなく働ける人たちには仕事を与える、働いて生活ができるようにすることのほうが大事だと思うようになりました」

川上さんの一番の関心事は消費税。「以前3%から5%に上がった時にはどんな変化があったのかを調べ、そこから得られるデータをもとに今回の増税によってどん

なことが予想されるのかを分析したい。今後どういう風になるのか、どんな仕事をしている人に最も影響があるのかということとを調べてみたいと思っています」と話す。

一方、対比地政樹さんと吉岡志高さんは一般企業が志望だ。

「中小企業の社長さんと話す機会があって、今景気が上がってきていると言われてるのに、みなさん実感がなく、一部の大企業だけが潤っているんじゃないかと言っています。それを聞いて、本当に景気はよくなっているのか、景気がよくなるというのはどういうことなんだろうと考えるようになりました」と話す対比地さんは、教室では生まれてこない問題意識を持っている。

吉岡さんの関心が向かうのは税制だ。

「自分自身アルバイトをしていて思ったのは、所得税の控除などが複雑で、それが時に勤労意欲の減退を生んでいるのではないかとことです。税制が人の労働に対する意識や行動にどういう影響を与えるのか、税制についてもっと深く勉強しなくては、と思っています」

経済学部はゼミが必修ではない。卒論を書かないまま卒業していく学生が、少ないとはいえ、例年何人かはいる。宮澤教授は「それでもあえてゼミに入ったのですから、最後までついてきて卒論を出して卒業してほしい」と願うが、少なくともこの4人にそんな心配は無用だろう。



健康づくりで大学と社会の インターフェイスの役割を果たす

体力医科学研究センター

石井 好二郎

【スポーツ健康科学部教授】



2008年4月、スポーツ健康科学部の誕生とともに発足した「健康体力科学研究センター」。その活動が5年の期限を迎え、今年3月、発展的解消により生まれたのが「体力医科学研究センター」である。体力医科学研究センターは遺伝子や細胞レベルの研究ではなく、身体そのものやそれを取り巻く環境など、より実証的な研究に重点を置く。とくに「高齢者や子どもの運動指針」「身体活動とメンタルヘルス」「介護予防」など、具体的な課題の解決方法を探り、社会に還元できる成果を発信する。その活動状況やすでに生まれ始めている成果について、前身のセンター時代からプロジェクトの1つとして、子どもの身体活動量および強度の判定に取り組んできた、センター長の石井好二郎スポーツ健康科学部教授に伺った。

歩きたくなる環境・目標づくりを

能動的な健康志向が高まっている現代、そういうニーズに対して、適した運動やスポーツのやり方を提案していかうというのが「体力医科学研究センター」の目的です。前身の「健康体力科学研究センター」で大学と社会とのインターフェイスの役割を果たしていた部分をさらに特化したのが、この研究センターといつていいかもしれません。

今、糖尿病の患者が爆発的に増えています。これは身体活動をすることによってかなり改善できることが証明されています。しかし難しいのは、どの程度の身体活動を行えばいいのかということ、それを保ち続けることです。そこで重要になるのが、動きたくなるような環境づくりや目標づくり。例えば、京都市内には歴史的遺物があり、風光明媚なことから歩くことに非常に適しています。それを活かし、神社仏閣の石段を使って運動をしようということを提案しています。私が商標登録している「歩歩塾」では、歩数計で測った歩数から目標歩数を弾き出し、同時に科学的なことを踏まえて健康情報を提供することにより、歩きたくなるように



▲ 石井教授が監修した「京都市身体活動・運動に関する行動指針」(左)と「京ロコステップ+10」(右)

モチベーションを上げています。実際に今、京都市下京区では住民の方が歩くことを実践し、結果的に医療費の削減につながったという事実もあります。

実験室にとどまらない 多彩な研究フィールド

高齢化社会の中で高齢者をケアしていくことは重要なですが、一方で少子化が進む子どもたちが脆弱であれば社会を支えられないという問題があります。そこで当センターでは、子どもたちの健康にもアプローチしています。子どもは決して体力向上や健康づくりを考えてスポーツや運動をするわけではありません。われわれは身体を動かしていくことでどんなメリットがあるかを測定しています。歩数計のような活動量計というものが、これは単に歩数だけでなく、身体活動が強い弱いとも読み取ります。大人を基準につくられたものですが、「二重標識水法」という方法を同時に使って調べると、どのくらい身体活動を行ったのか、エネルギーを消費したのかが高い精度でわかります。

それで明らかになったのは、子どもに関しては、身体活動量だけでなく身体活動強度が極めて重要であるということです。大人は歩くだけの動きで量を稼げますが、子どもたちは走るなどのある程度強い動きが入ってこない量が稼げないことがわかってきました。

どのくらいの強度が必要かを、私たちは加速度計を使って走り出す速度もわかるようにしました。走っている時間が短くても、それが入ってくることによって、子どもたちは身体活動量が上がります。体力も上がってくるのです。実験室にこもって研究をするというより、そうしたデータを集めて答えを出していくのが当センターの活動です。センターのメンバーには他大学の先生や一般企業、医療関係の方も入っていますから、実験室だけにとどまらず、そういうネットワークを利用して、学校や地域など多くの研究フィールドを使って様々な研究を行っています。

「バリアフリー」で 健康寿命を伸ばす

今、要介護になる原因のトップは運動器の障害です。骨や筋肉などの運動器が弱くなっていくことによって、要支援・要介護になるというのが3分の1以上を占めているのです。今年、厚生労働省が「健康日本21(第2次)」という日本人の健康プランを出しましたが、その中で課題となったのが平均寿命

と、自力で問題なく生きていける健康寿命の幅が10年以上あることです。健康寿命を阻害する3大因子の1つが運動器の障害。ロコモティブシンドロームです。運動機能に障害が起こることによって、要支援・要介護になり健康寿命が短くなる。運動器なので、大きな原因は使わないことによる衰えです。衰えるともろくなり、もろくなるとしんどいので動くのが億劫になり、またもろくなる。負の連鎖です。いかにして動くようにするか、歩くだけで足りる部分と、歩くだけでは足りない部分があります。そこで、京都市内の神社仏閣の石段を使うのです。バリアフリーではなく、バリアフリー。“バリアフリーでだんだん弱くなっていったのを、今度はバリアをありにしてそれを超えていくわけですね。

発育・発達期の子どもの メンタルヘルスに注目

もう1つ、当センターが注目しているものにメンタルヘルスがあります。われわれの研究「児童期から生徒期における身体活動とメンタルヘルスとの関連性の検討」は、平成

25年度から3年間を対象にした日本体力医学会の研究プロジェクトに選ばれています。パイロットスタディとして、大阪で1300人ほどの中学生に実施した予備研究では、身体活動の強度がある程度高い運動をしている子どもの方が、マイナスの状況に対して頑張ろうという気持ちがあるという結果が出ました。強い運動をすることが子どものメンタルヘルスにも関係するということがわかったので、さらに拡大して全国で1万人規模の実験を行う予定です。

また、メンタルヘルスの中には自己効力感、だめなものだめだという気持ちを培うということもあります。いじめがある時、直接いじめている人だけではなく、それを黙って容認している人がいじめを支えているという構図があります。そうしたことに對していやなものはいやだ、悪いことは悪いと言えぬ気持ちがあるのか。そういうことをからめながら身体活動の量、強度が子どもたちにどれくらい影響を及ぼすかということも考えていきます。高齢者ではメンタルヘルスが確実に変わることがわかったので、発育・発達期の子どもたちに対してどうなのかというところを見て行こうとしているわけです。

当センターは5年が期限ですが、研究論文を出すだけでなく、重要なのはここで培った成果をどのように社会に對して展開していくかです。開発と展開を同時に進めていく、それが当センターの特徴であり役割なのです。



B



C

B 「第14回日本健康支援学会年次学術大会」にて学術大会奨励賞を受賞(右:中山侑紀さん)

C 「京都市民健康づくりプラン(第2次)策定に係る市民シンポジウム」会場での下肢筋力測定の様子

来年度就職を目指す皆さんへ

豊かな人生のために 充実した学生生活を

就職を取り巻く状況

大学生の新卒就職に関して2013年4月に政府から経済3団体に要請がなされ、9月に日本経済団体連合会から「採用選考に関する指針」が発表されました。学生が徹底して学ぶことができる環境を整備するために、現2年次生(2016年4月採用)から、企業の広報活動の開始時期が3年次生の3月に、採用選考活動の開始時期が4年次生の8月に後ろ倒しになります。懸念されることは、選考時期が短期化することにより、準備不足のままの就職活動が不本意な結果へと繋がることがです。従って3年次生の3月までの準備が大切になります。キャリアセンターでは就職活動準備のための支援プログラムの開催時期や内容を検討しています。

現3年次生(2015年4月採用)は昨年同様、広報活動は3年次生の12月から、採用選考活動は4年次生の4月から始まります。キャリアセンターでは、9月30日から10月4日までの間、今出川・京田辺両校地で実施した第1回ガイダンスを皮切りに多様なセミナー、講座を段階的に開催し、12月から本格的に始ま

る就職活動にスムーズに取り組めるよう支援しています。ガイダンスでは「キャリアの第一歩となる就職活動に本気で真摯に取り組んでいただきたい」というメッセージを発しました。

2014年4月採用の内定状況(日本経済新聞社10月1日調査)は3年連続で前年度実績を上回りました。銀行や証券といった非製造業が7・3%の増加となる一方で製造業は慎重な採用姿勢で臨む企業が多く5・4%減と2年連続の減少という状況です。金融機関を中心に人材獲得競争が厳しくなるなかで質を重視して採用を絞り込む傾向も伺えます。グローバルな経済環境の中で国際競争に勝ち抜くためには「コア人材」つまり企業の発展を支える次世代を担う人材を確保するために、「厳選採用」の姿勢が定着しています。企業は単に数合わせで採用しているのではなく、「コアになる人材がほしい」と考えているのです。

一人で複数の内々定を得る学生と最終面接に至るものの内々定を得られず、長期化を余儀なくされる学生の二極化傾向が伺われます。企業の知名度にこだわったり、特定の業種に偏った就職活動を行ったことで苦戦

するケースも見受けられます。最終的な消費者の目に触れない企業であっても業績を伸ばし、発展している企業は数多くあります。就職活動が長期化した学生も就職活動を進めるうちに自分に合った企業を見る視点が決まり、最終的には満足のいく就職先を決定しているケースが多くあります。目先の企業選びではなく、自分自身がどのような道を歩みたいのか、就職活動を行うにあたってまずは考えてほしいことです。

先輩達の反省点としては、2013年3月に卒業した本学学生の就職活動を終えてのアンケート調査により「応募先選択段階での反省点として、知名度にこだわりました」「1位で「業種にこだわりました」「職種にこだわりました」と続いています。面接・試験段階での反省点としては、「志望動機があいまい」「自己分析が不十分」「自己PRの不足」「SPI、一般常識の勉強不足」が挙げられています(左頁参照)。

企業の求める人材

それでは、企業はどのような人材を求めているのでしょうか。経済産業省が、職場や地

今年度就職活動をした 先輩からのメッセージ

(2013年度 就職に関するアンケート)から

●文系男子◆就職活動が始まったら、いろいろな所に行き、たくさんの人に会うと思います。なるべくたくさんの人と会って話を聞いて、その会社が本当に自分のやりたいことができる所なのか、自分が幸せに働ける会社なのかを十分に考えてください。やったらよかった結果も出ると思いますし、なにより就職活動が楽しくなつてきます。年次の低い方は、学業なりサークルなりアルバイトなりを一生懸命やって、大学生活が充実していると思えるように全力で楽しんでください。(経済)◆早く内定ができる人も居ればなかなか出ない人もいます。私もなかなか内定が出ず、本当に苦しい思いをしました。が最後は非常に満足のいく企業から内定を頂きました。苦しくても絶対に負けず、反省を次に活かし続ければきっと結果はついてきます。頑張ってください。くれぐれもお体には気をつけて。(政策)◆就職活動を通じて様々な経験をしたいと思います。自分が「何者」なのか。周りに与える影響、押し付けられる影響を通じて、自分の人生を楽しんでください。(スポーツ健康科)●文系女子◆就職活動は、「自分との戦い」です。ゴールは内定を頂いて、自分の夢を叶える道を掴むことです。自分の目で、常にこのゴールを見続けて下さい。他人は気になるかもしれませんが、全員仲間です。他人をライバル視すると、知らない間に自分の目には「ゴール」ではなく「他人」が映ってしまいます。ライバルは他人ではなく、常に「自分自身」であることに気が付いた人が、就職活動を成功させることが出来ると思います。(文)◆自分を知ることが一番

域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力を「社会人基礎力」として提唱しています。「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」、「チームで働く力（チームワーク）」の3つの基礎的な能力から構成されると定義付け、その3つの能力を主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力の12の要素に区分しています。この12の要素のうち最も重要だと考えられる要素として、企業は「主体性」と「実行力」を挙げています。日本経済団体連合会が実施したアンケートによりますと、企業が選考時に重視する能力の1位は9年連続で「コミュニケーション能力」でした。2位以下は「主体性」「チャレンジ精神」「協調性」と続いています。企業が新卒の学生に求める力の平均値は、「コミュニケーション能力を有しつつ、自ら主体的に行動し、実行する力」と集約できるのでしよう。グローバル化が進展する中で、語学力を評価する企業が増えていますが、単に語学が得意だけでは評価されません。社会人基礎力を備えたうえでの語学力です。

充実した学生生活を

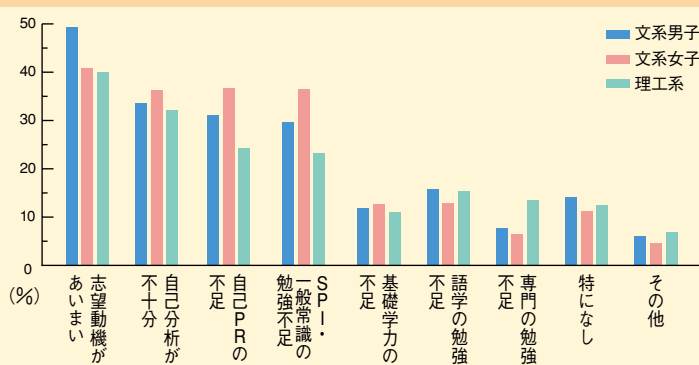
社会人基礎力を身につけるためには、何事にもチャレンジすることが大切です。授業はもとよりクラブ・サークルやボランティア活動あるいはアルバイトを含め、自分の興味関心のあるものを見出し、それに真剣に取り組み達成感を味わうこと、失敗や挫折を経験することが一回りも二回りも自らを成長させま

す。そしてそのような行動をとる中で、自ずと社会に向ける目も広がり、多くの人と関わることで「人間力」が磨きあげられます。様々な経験を積み重ねることが卒業後の人生を豊かにするとともに、そのような過程でいろいろな気づきをして成長した学生に企業は魅力を感じ、結果として、就職活動における評価にも繋がります。漫然とした日々を送るのではなく、常に何かにチャレンジする充実した学生生活を送ってほしいと思います。

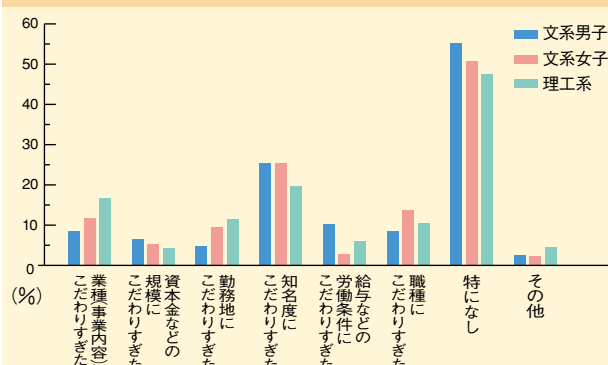
来年度就職を目指す皆さんへ

皆さんが就職する目的は、「社会での自立」、「社会参加による貢献」、「能力を生かした自己実現」ということになるかと思っています。そのためにはまず、自分自身を知ること（自己理解）が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業で実現できるのか、自分の力がどのように職場で発揮できるのか考えてください。それを考える手段として、OB・OG訪問や企業セミナーへの参加などで幅広く情報を収集することが大切です。そして業界・企業研究を経て、自分のやりたい職業、働きたい企業を見出し、業務内容をよく調べ、自分はどの会社でどのように働きたいか」を話せるようにしておくことがポイントです。採用担当者は、面接などのやりとりから、熱意、主体性、コミュニケーション能力、問題意識や行動力を見極め、「一緒に仕事をしたい人物か」どうかを判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず見できるはずですよ。自分を信じて前向きに就職活動にチャレンジしてください。

面接・試験段階での反省点



応募先選択段階での反省点



重要だと思います。どのように生きていきたいか、人生をかけて何を成し遂げたいのか。"Why?","What?"を繰り返して自分自身に聞いてみると自ずと選択肢は少なくなってくるはず(ただ初めは色んな業界を見つけた方がいいと思います)。周りに流されず、自分に自信を持って！(法)◆就職活動の終わりは、内定が出た時ではなく、自分自身が納得した時です。就職活動を終えた後の成長している自分を想像しながら、不安や悩みと向き合ってください。(商)◆100%うまくいくことは、ほとんどありえないです。挫折を味わったり、自分を見失いそうになることもあると思いますが、最後まで諦めないことが大事だと思います。金融を受ける人は、とにかく自己分析が大切です。(文化情報)●理系男子◆企業研究ではいろんな分野に目を向けて頑張ってください。幅広い業界の会社説明会に行くことで、改めて自分が行きたい企業の魅力を知ることができます。スベシャリストになりたいのか、ゼネラリストになりたいのか：それはいろんな業界の会社を受けることで考えが固まってきます。(生命研究科)●理系女子◆就職活動をするにあたり、SPIなどの試験勉強はもちろん、自己分析と企業研究はしっかりとしておいた方がいいと思います。どのようにしたらいいのかわからない場合はキャリアセンターに相談に行くとき親切に答えてください。健康面に気を付け、スケジュール管理をしっかりして就職活動に臨んでほしいです。(理工)◆周りの人に感わされないでください。就職活動を行い、面接を受けるのは自分自身です。協力すること、頼りすぎることとは違います。主体性を持って行動すれば、満足のいく結果に結び付くと思います。(生命医科)



ハリス理化学館 同志社ギャラリー開館

11月29日、待望のハリス理化学館同志社ギャラリーが開館しました。当日は本学の関係者をはじめとして、京都府や京都市、包括連携協定を結ぶ福島県や会津若松市の方々も出席され、盛大な開館式典が開かれました。



当館は、同志社の歴史と創立者新島襄の今に息づく精神を、貴重な資料によって紹介する展示施設です。建物名の由来にもなっているJ.N.ハリスの寄附によって1890(明治23)年に竣工したハリス理化学館は、ながらく同志社における理化学教育の拠点となった建物であり、現在では国の重要文化財にも指定

されています。

このたびの開館により、常設展示や年数回の企画展を行うための展示室などを設け、新たな情報発信拠点として生まれ変わりました。ドラマにも取り上げられている襄と八重、そして同志社の歴史を学びに、ぜひ一度足をお運びください。

(同志社社史資料センター)

京田辺キャンパス礼拝堂の建設について

2013年2月に京田辺キャンパス礼拝堂設計提案の国際コンペを行い、応募作品379点(国内358点、海外21点)



の中から選ばれた作品を基本として、現在、礼拝堂などの宗教施設(礼拝堂及び付属施設)を建設する計画が進んでいます。場所は香柏館高層棟と夢告館の間に建設されます。現在のキリスト教文化センター棟の南側で、ラーネッド記念図書館前広場の北側になります。

すぐ下のイ

メージ図は付属施設である「ラウンジ・新島襄関連資料展示スペース」

から道をはさんで礼拝堂を臨むものです。

2つの建物の一体感と開放感を産み出すために大きなガラス面を用いたり、道の両側に水をたたえた空間(新島襄の海)を備えるなどの工夫が凝らされています。

キリスト教を徳育の基本とする同志社大学の京田辺キャンパスの精神的なシン



ボルの建物、施設となります。チャペル・アワーなどキリスト教の諸活動をはじめ、日常的に講演会や学生団体の成果発表など、多様な用途で活用していただく予定です。

完成は2014年末から2015年春を目指していますので、どうぞご期待ください。

(キリスト教文化センター)

熊本キャンプを開催

9月4〜6日の2泊3日、6回目となる熊本キャンプを開催し、14人の学生が参加しました。このキャンプは草創期の同志社で活躍し、同志社の源流を形作った熊本バンドの足跡を辿ることにより、参加学生が同志社スピリットを体感するものです。

学生たちは出発までに3回の事前学習を行い、熊本での訪問先を調べ、ゆかりの地ツアー、レクリエーション・タイムや卒業生との交流会でのアトラクションを企画立案しました。

初日のジェーンズ邸訪問では、前館長の黒田孔太郎氏から藩立の熊本洋学校の教員であったL・L・ジェーンズの教育への信念や、教育内容(すべて英語で学ぶ)について詳しく説明を受けました。学生たちは「答えは教えず、自分で解くよう

に自己啓発型の学習を徹底させた」という教育方針に感銘を受け、熊本バンドから同志社英学校の社長・総長を5人も輩出していることに驚いていました。訪問の途中で、ジェーンズ邸の隣にある水前寺保育園の興津景一園長から熊本名物いきなり団子と飲み物の差し入れをいただき、ありがたく頂戴しました。

2日目には徳富記念館の見学、卒業生の難波信義氏が牧師を務める草葉町教会での礼拝、そして午後からは3班に分かれて熊本の名所を訪ねました。夜には、九州学院の内村公春院長の講演に引き続き同志社校友会熊本県支部との交流会を行



いました。学生は卒業生の方々から自分たちが生まれる前の学生生活やキャンパスの様子を伺い、就職についてのアドバイスを受けるなど交流を深めました。交流会の最後には、卒業生、学生、教職員が輪になってカレッジソングを熱唱しました。

最終日には、熊本バンドが1876年1月30日に花岡山で奉教趣意書に署名したことを記念し、同志社が創立90年記念に寄贈した「奉教之碑」の前で学生が自らの志を述べて解散式を行いました。キャンプを終えた学生たちからは「同志社草創期の偉人を知り、多くのことを学んだ」「学部を超えた学生同士の新たな出会いがあり、これからも関係を深めていきたい」「社会で活躍をしている卒業生との交流を通じて卒業後の同志社とのつながりを感じることができた」などの感想がありました。来年1月30日に花岡山で行われる「奉教之碑」早天祈祷会には、当センターの越川弘英副所長が招聘を受けて奨励を行う予定です。

(キリスト教文化センター)

公式facebookページが
できました！

10月1日から同志社大学公式facebookページを立ち上げました。

現在の同志社大学の姿を随時お伝えし

ていきます。ぜひご覧いただき「いいね！」をよろしく願います！

<https://www.facebook.com/doshisha.university>

university

(広報課)



今年度の
司法試験結果について

9月10日、本年5月に実施された司法試験の合格者が法務省から発表されました。本研究科(同志社大学法科大学院)の修了者は42名の合格(昨年は44名)であり、法科大学院別合格者数では全国第12位でした。関係の皆様方には日頃のご支援にお礼申し上げますとともに、今後ともご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(司法研究科)

■平成25年度 司法試験

法科大学院別合格者数

順位	大学名	合格者数
1位	慶應義塾大学	201人
2位	東京大学	197人
3位	早稲田大学	184人
4位	中央大学	177人
5位	京都大学	129人
6位	一橋大学	67人
7位	明治大学	65人
8位	大阪大学	51人
9位	北海道大学	50人
10位	上智大学	46人
10位	神戸大学	46人
12位	同志社大学	42人
13位	名古屋大学	40人
13位	立命館大学	40人
15位	九州大学	39人

前号(176号)掲載記事について

本誌No.176(2013年10月1日発行)に誤りがありました。

お詫びして訂正します。

●P.8

【誤】藤野 可織さん

【2003年 大学院文学研究科
博士課程(前期課程)修了】

【正】藤野 可織さん

【2004年 大学院文学研究科
博士課程(前期課程)修了】



本学教員の執筆図書紹介

図書館調べ(価格は税別)

住民と創る地域包括ケアシステム

永田祐著 ミネルヴァ書房 2,500円

コールドチェン

石田信博 他著 晃洋書房 2,200円

桃山時代 黄金とわび

狩野博幸 他解説 小学館 1,500円

「幸せ」の経済学

橋本俊昭著 岩波書店 1,700円

これからどうする

橋本俊昭 浜矩子 他著 岩波書店 1,900円

政策学入門

新川達郎 編 新川達郎 真山達志 山谷清志 今川晃 今里滋 武蔵勝宏 風間規男 月村太郎著 法律文化社 2,500円

風雅と官能の室町歌謡

植木朝子著 角川学芸出版 2,000円

基礎から学ぶスポーツ概論

石井好二郎 他著 大修館書店 1,800円

シモーヌ・ヴェイユ

庭田茂吉 他訳 朝倉房 2,600円

今様

植木朝子著 笠岡書院 1,200円

秩序と規範

佐伯順子 他著 岩波書店 3,800円

租税法における文理解釈と限界

占部裕典著 慈学社出版 1,600円

国際会計基準

田口聡志 他著 税務経理協会 2,800円

言語表現学の基礎と応用

山内信幸 他著 清文堂出版 4,500円

文学の言語表現学

藤井俊博 他著 清文堂出版 4,600円

現代民法の実務と理論 上巻

安永正昭 森本滋 森田章 他著

金融財政事情研究会

24,000円

人権保障の現在

新井京 黒坂則子 佐伯彰洋 太田裕之

論集文学と音楽史

植木朝子 他著 和泉書院 1,500円

会計認識領域拡大の論理

志留理著 森山書店 2,800円

マクロ金融経済の基礎理論

藤原秀夫著 晃洋書房 3,000円

比較文化への視点

竹本知行 他著 英光社 3,400円

経済学者に聞いたら、

ニースの本当のところが見えてきた

浦坂純子 他著 日本経済新聞出版社 1,400円

家族療法テキストブック

早樫一男 他著 金剛出版 5,600円

スコットランド文学

金津和美 他著 開文社出版 4,800円

経済政策の射程と限界

浜矩子 他著 扶桑社 1,400円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

キリスト教の起源

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

カトリック信仰

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

正教会の歴史

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

宗教改革

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

プロテスタント

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

「DVD」キリスト教危機と復活の歴史

被席に立つ神

小原克博 日本語字幕版監修 丸善出版 3,500円

クロアチアを知るための60章

月村太郎 他著 明石書店 2,000円

株式会社法大系

中西敏和 伊藤靖史 他著 有斐閣 5,700円

会社事件手続法の現代的展開

川嶋四郎 他編著 日本評論社 4,200円

子どもと青少年のためのマインドフルネス

武藤崇 監修 石川信一 他監訳 明石書店 3,600円

「アベノミクス」の真相

浜矩子著 中経出版 1,000円

憲法学の世界

尾形健 他著 日本評論社 2,400円

世論調査の新しい地平

西澤由隆 飯田健 他著 勁草書房 4,600円

表彰制度

太田肇 他著 東洋経済新報社 1,600円

近代日本の歴史都市：古都と城下町

田中智子 他著 思文閣出版 7,800円

子どもの不安を抑うつに対する認知行動療法

石川信一 著 金子書房 3,000円

「新しい公共」とローカル・ガバナンス

新川達郎 他著 敬文堂 2,800円

岩波基本六法平成25(2013)年版

土田道夫 他編 岩波書店 2,600円

連語を使おう：

文型・例文付き連語リストと練習問題

松本秀輔 米澤昌子 執筆協力 古今書院 2,800円

Scottish tours Vol.1 ~ Vol.8

金津和美 編 金津和美著(別冊日本語解説) Eureka Press 148,000円

岩波判例セレクト六法平成25(2013)年版

西村健郎 他編 岩波書店 2,000円

東アジアとアジア太平洋

寺田貴者 東京大学出版会 5,800円

町内会の研究 増補版

鯉坂学 他編著 御茶の水書房 9,200円

政府間競争の経済分析

田中宏樹著 勁草書房 4,200円

親密圏と公共圏の再編成

柴田悠他訳 京都大学学術出版会 3,600円

スポーツ六法 2013

川井圭司 他編 信山社 2,500円

教師とスクールカウンセラーでつくる

ストレスマネジメント教育

佐藤豪 他著 あいり出版 2,600円

組織を強くする人材活用戦略

太田肇著 日本経済新聞出版社 8,300円

会社法コンメンタール7 機関(1)

中西敏和 他著 商事法務 6,500円

「機会不均等」論

橋本俊昭著 PHP研究所 1,400円

認知行動療法という革命

石川信一 他訳 日本評論社 3,000円

フランス・キング短編集集

山本妙 他訳 新水社 2,800円

礼拝

越川弘英著 日本キリスト教団出版局 1,300円

ウェルビーイング・タウン社会福祉入門

改訂版

上野谷加代子 他著 有斐閣 1,800円

知の版図

圓月勝博 他著 悠書館 2,800円

帝位・見果てぬ夢の物語

廣田収著 平安書院 寄贈(金額記載なし)

「倭国乱」と高地性集落論・観音寺山遺跡

若林邦彦著 新泉社 1,500円

日本のジェンダーを考える

川口章著 有斐閣 1,900円

幸福の人類学：

クリスマスのドイツ・正月の日本

小野文生 他著 ナカニシヤ出版 2,200円

森美術館問題と性暴力表現

岡野八代 他著 不磨書房 1,800円

現代の日本政治：カラオケ民主主義から

歌舞伎民主主義へ

オフェルフェルトマン 他著 原書房 4,200円

統合ヨーロッパの市民性教育

見原礼子 他著 名古屋大学出版会 5,400円

会社法・商行為法手形法講義 第3版

森本滋著 成文堂 2,800円

講座東アジアの知識人1 文明と伝統社会

小川原宏幸 他著 有斐閣 3,600円

EC(欧州連合)を知るための63章

月村太郎 他著 明石書店 2,000円

最高裁判例研究 第1巻

総則・物権・担保物権・債権総論

梶山玉香 他著 日本評論社 5,000円

最高裁判例研究 第2巻

契約不法行為・親族・相続

田井義信 他著 日本評論社 5,000円

同志社人
訪問

歴史小説家

澤田 瞳子さんに聞く

インタビュー
羽地 咲さん
【社会学部産業関係学科 3年次生】



羽地 ● インタビューに当たってご著書を拝読しました。私は基本的に社会学など勉強に関係する本と、あとはやわらかい中身の本ばかり読んでいたので、歴史小説と聞いて身構えていたのですが、とても楽しく読ませていただきました。とくに『孤鷹の天』は、奈良時代を舞台に、役人を養成する学校で勉強する若者たちの波乱万丈の物語。当時の臨場感が作品からひしひしと感じられて、たいへん感銘を受けました。歴史に詳しくなったような気がします。

澤田 ● ありがとうございます。私が歴史小説を書き始めたのは、あなたの方のような若い人たちにも歴史が面白いものだと伝えたかったからです。なかでも『孤鷹の天』は、奈良時代の青春群像ということもあり、幅広い年代の方に手に取ってもらいやすいように書きましたから、そう言っていただけなのが一番うれしいですね。

羽地 ● 大学院に進まれたのは小説を書くためですか。

澤田 ● もともとは研究職を目指していたのです。博士課程に進んで研究者になろうと思っていました。ところが大学院で研究しているうちに、学問を通して伝えられる歴史は、一部の人に限られてしまう。もっとたくさんの人に歴史を伝える方法はないか、と考え始めたのです。歴史って中学・高校の詰め込み教育のせい

もあって、嫌いになる人が多いでしょう。

そうじゃなくて本当はとっても面白いものですよ、ということを知って欲しくて。

それで大学院は前期課程でやめて、最初は徳間書店の月刊小説誌に連載エッセイを書かせていただき、その後、もっと長い

ものに取り組みたいと小説に転向しました。小説家に、というよりも、まず先に、歴史の奥深さを多くの人に伝えたいという思いがあったのです。

羽地 ● 歴史小説を書くのは大変なことだと思うのですが、やはり苦しいことはあるのでしょうか。

澤田 ● 苦しいことばかりです(笑)。とくに奈良時代は小説に取り上げている方が少なく、自分で開拓していくしかないの

今回の同志社人

澤田 瞳子さん

【2002年大学院文学研究科文化史学専攻
博士課程(前期課程)修了】

1977年生まれ、京都府出身。大学院での専門は奈良仏教史。2011年『孤鷹の天』で第17回中山義秀文学賞を最年少受賞。『満つる月の如し 仏師・定朝』では今年5月の第32回新田次郎文学賞などを受賞。他の著書に『日輪の賦』『ふたり女房 京都鷹ヶ峰御薬園日録』などがある。近著は『夢も定かに』。



です。江戸時代だとみなさんよくご存じですから、例えば一般庶民の家がどんな様子だったかイメージできますが、奈良時代に普通の人がどのような生活をしていたか、誰もまだはつきりとは知りません。私自身詳細な部分まではわからないので、資料に当り、自分の中でほんやりしたものを想像して書いていくのです。だからその分余計に時間がかかるのです。ただその一方で歴史小説はこれまで江戸時代や戦国時代がメインでしたが、古い時代の作品も増えつつあります。これからは古代小説も頻繁に出てくるのでは、と期待しているのですが。

羽地 ● それを澤田さんが引っ張っていかれるということですね。

澤田 ● 小説は誰かと競って書くものではなく、とくに私の場合は、これまでの作家が書かなかった隙間の中から、興味深く感じたものを拾い上げて膨らませる傾向があります。そういう意味では、誰もが知っている華やかな表舞台ではなく、その裏側を書くのが使命だと思っています。

羽地 ● そのような歴史小説を書くうえでこだわっておられる点や大事にされているところはありますか。

澤田 ● 小説とは基本的にフィクションですが、史実に背く事を書くとは荒唐無稽な

話になってしまふのです。ですから、歴史にはうそをつかない、何年何月何日にこの人物がここにいたという史実があれば、それに基づいて物語を作ることは基本的に考えています。

羽地 ● 『孤鷹の天』に登場する人物は全員実在の人なのですか。

澤田 ● 全員ではないですね。大学寮関係者なら3分の2くらいは架空の人物です。残り3分の1の実在の人物に関しては、現在伝えられている史実に合うよう描きました。

羽地 ● 私にはどの人が実在の人物でどの人がそうでないかわからないくらいリアルティがありました。

澤田 ● 物語として読んでいただくときには「あ、面白いな」でいいのです。ただ、その核には本物のことがないと歴史小説ではなくなってしまう。

羽地 ● 大学時代のことを聞かせてください。

澤田 ● 大学では能楽部金剛会に所属していました。研究室にも早くから出入りしていたのですが、一方で部の活動も結構忙しく、自分でもよく両方をこなしたものだと思います。でも、その時の人間関係は今でも続いている、まったく違う方面へ進んだ友人に仕事の話を聞かせてもらったり、相談に乗ってもらったり、いい信頼関係ができていますね。

羽地 ● 大学時代の経験が今になって役立っていることはありますか。

澤田 ● 基本的な史料の読み方や文献の探し方を身に付けておいたのはよかったと思います。少し話はそれるかもしれませんが、私が、私は大学とは勉学の間であると思う一方、勉学と学問は違うとも考えています。学問については、なにも学生全員が取り組む必要はない。学問以外にも、何かに一生懸命向き合うということが、すなわち勉学なのです。すべての講義に出なかったとしても、これを究めようという





時間をもつことが大事だと思います。

羽地 ● 私は漫画研究会で漫画を描くことに注力するあまり、たまに勉強を怠ってしまうのですが、今のお話を聞いて、ちょっと自信ができました(笑)。ところで澤田さんにとって、同志社大学のよさはどんなところにあると思われますか。

澤田 ● 先ほども少し言いましたが、友人や後輩たちは、みんなバラバラの方向に進んでいます。一般的には大学まで行くと、社会学、国文学などそれぞれの専攻と連結した方面を探るはずなのですが、それこそ180度違うことを始める人もいて、先生方もそれをおおらかな目で見守ってくださる。そういう多様性を許容する寛容さが同志社大学のよさだと思いますね。

羽地 ● 新島襄の精神にもあると思うのですが、私もそのような自由さは感じていて、同志社大学に入ってよかったと思っています。では、そのよ

うに自由のあるこの大学で、澤田さんがやり残したこと、やっておけばよかったことはありますか。

澤田 ● いつか海外の歴史小説にも取り組みたいので、外国語をやっておけばよかったですね。何にしても小説を書くにはまず史料を読まねばならないのですが、海外を舞台にする場合、翻訳されている史料は少ないし、やはり正確を期するためになるべく原典に近いものでなければいけません。アメリカ、イギリス、フランスなど有名な国なら別ですが、例えば北欧や東欧諸国となると母国語の文献が大半です。フランス語やドイツ語に訳されているものならまだありますから、どちらかの言語ぐらい学んでおけばよかったと後悔しています。

羽地 ● それに関連して、一般の学生が大学時代にやっておくべきことなど、アドバイスをいただけますか。

澤田 ● 先ほど申し上げた勉学の話になりますが、学問をしなかったとしても、自分で何かこれだけは追求できたというものを見つけてくれたら、と思います。人生は学ぶことの連続です。ですが会社就職すれば、向き合う勉強の大半は仕事のためのもことになるでしょう。純粹に自分のためにのみ時間を使えるのは、学生の時だけなのです。この機会は今しかないということを認識して、自分の好きな道に突き進んでほしいですね。

羽地 ● 本日はとても参考になるお話を伺うことができました。ありがとうございます。



INTERVIEWER

羽地 咲さん

社会学部産業関係学科 3年次生

兵庫県伊丹市出身。小学校3年生から5年生の終わりまで、父の仕事の関係でオランダに滞在。ストーリーを考えるのと絵を描くことの両方が好きだったことから、両方を融合した漫画に傾倒。漫画研究会では主に不条理なギャグ漫画を好んで描く。今回のインタビューを機会に、歴史漫画にもチャレンジする予定。

自分が自信を持ってできること、自分にしかできないことを追求して。

澤田さんのお話を伺って、1つのことを突き詰めれば、それは1つの力になるんだということがわかりました。漫画と小説、舞台は違いますが、自分の思うことを伝えたい、表現したいという出発点は私にも共通しています。私は与えられたことをそのままこなすという受動的な生き方が嫌い、与えられたものを自分なりに解釈し、工夫して形にするという生き方をしていきたいのです。どんな仕事をするにしても、そういうポリシーを曲げずに、自分の力を思う存分発揮できるような生き方ができれば、と思っています。誰でも頑張れば当たり前のことはできると思うのですが、そこからワンステップ上がるのは大変です。でも、自分が自信を持ってできること、これは私にしかできないことだという気持ちで生きていきたい。歴史小説家として澤田さんが目指しておられるのも、そういうことではないかと思いました。

「映画を作りたい」そう思い続けて 行動したからこそ、夢がかなった。

私が初めてプロデューサーとして手がけた映画「利休にたずねよ」が、12月7日から公開になります。同じ同志社大学出身の作家・山本兼一さんの直木賞受賞作の映画化を、私が企画したのは2009年明け頃。東映入社後4年目、まだ最初の配属先の関西支社営業室宣伝担当の時でした。「東映の人間は誰でも映画を企画している」という社長の言葉があったとはいえ、映画制作の現場も知らない新人宣伝マンが映画をプロデュースするのは異例のことです。社内でも公式に認められ、主役の利休役に市川海老蔵さんをキャストینگし、クランクインするまではもちろん実際に撮影に入ってから立ち回しはなかった壁は低いものではありませんでした。

まず、一介の宣伝マンに過ぎない私に、映画化のオファーが殺到している原作の映画化権をどうして獲得できたのかと社内でも話題になりました。私は原作を出版したPHP研究所の担当者に「プロデューサー経験のない1人の宣伝マンだが、何としてもこの素晴らしい作品を映画にしたい」と心から訴えました。それに対して、出版社の人はこう答えてくれたのです。「私たちは映画作りの経験はないかもしれ

ないが、ものづくりのプロではある。どういう熱意を持った人に原作を預ければいい映画ができるかはわかっていくつもりだ。森田さんにおまかせしたい」。まさにこの言葉にものづくりの本質を教えていただいた気がしました。その後、何度も挫折そうになることがありましたが、「こんなことで挫折するわけにはいかない」と奮い立てたのは、そうした経緯があったからです。

3年がかりでかなえることができた映画作りの夢。私がそれを抱くようになったのは、中学生の時、内田吐夢監督の映画「宮本武蔵」を観て、ハリウッド映画にも負けない日本映画があると知ったことからです。SF映画を作るために役立つのでは、という思いから、同志社大学でも工学部を選びました。高校までサッカー部だった私が大学では映画研究会とともにフェンシング部に入ったのも、スターウォーズなど海外の映画では殺陣のシーンはすべてフェンシングがベースになっていることが理由です。工学部もフェンシングも、「映画を作りたい」という1つの思いでつながっているのです。

自分が本当にやりたいことがあってもそこへ行き着くのは簡単なことではあり

ません。私も映画会社には入ることができましたが、行きたかった映画制作の現場への配属はかきませんでした。でも、結果的には夢だった映画を作ることができた。どこにいても目標さえ忘れなければ、それに向かつて自分から行動を起こせば、心あるいろんな人たちが手助けしてくれて、やがて必ずたどり着ける。自分の経験からも、私はそう思うのです。

森田 大児さん

【2005年 工学部電気工学科卒業】
東映株式会社企画製作部 プロデューサー

大阪市出身。映画への憧れで入ったフェンシング部では、上からの押し付けで指導するのではなく、自分で考え解決していくことで伸ばすという部の方針が性に合った。当時の先輩やOBに教えられた「読まなくていい空気は読むな」「力の抜き方を知っているの方が力の入れどころをわかっている」といった言葉は、社会人となった今、より実感として役立っているという。映画「利休にたずねよ」では、過去の映画で一度も使用することができなかった「本物」の黒楽茶碗を、劇中に初めて登場させるために奔走。映画史上はもちろん、茶道史上にも残る「奇跡のシーン」を生み出した。「現場でプロデューサーの不在に非難の声が出た時、市川海老蔵さんが『あいつは本物の茶碗を探しに行っているんだ。必ず持って帰ってくる』と庇ってくれたことが心の支えになりました」と振り返る。

試行錯誤しながら積み重ねた経験が、 やがてやりたかったことにつながる。

「英語を使って仕事がしたい」。それが私の希望でした。大学卒業後、イギリスに留学したのも、英語を勉強するためです。イギリスで2年間暮らし、ある程度英語を覚えて帰ってきたので、英語を使える仕事を探し海外と取り引きのある京都の機械メーカーに勤めることにしました。けれど、実際に生きた英語が使いたいという想いから、外国人観光客と接する機会が多い飲食店に転職。そこで出会ったお客様から海外営業の仕事があると誘われて東京にある映像コンテンツメーカーに入ったのが、現在の仕事につながる初めての出会いでした。アニメが昔から好きだったとはいえ、それと英語がどのように結びつくのかわからなかったのですが、アジアやヨーロッパに日本のアニメの放映権やビデオなどの商品を売る権利を販売する仕事は、これまで勉強してきた英語が生かされているという充実感がありました。

その会社で4年、海外向けライセンスの仕事をして、現在のダウンゴに移ったのが2011年3月。北米向けに新しく立ち上げる動画サイトに向けてアニメを買い付けるスタッフを探していた当社に誘われたのです。今はアニメ作品のライセンス全般を

担当。ダウンゴが出資して制作するアニメ作品について、ニコニコ動画で流すだけでなく、契約全般やビデオ、グッズなどの売り上げからの収入の管理も行っています。また、国内外の動画サイトへ向けた配信権販売も担当しています。この夏からは、新たにアジア向けの取り組みも始まりました。新規事業のため、国内外企業との調整事等も沢山あり、ゼロから作り上げる大変さがあります。しかし、ライセンスビジネスの経験と語学、どちらも役に立つ機会が増えそうで、とてもやりがいを感じられそうです。

やりたい仕事をやって楽しければそれが一番いいのですが、「やりたいこと」と「できること」向いていることは必ずしも一致しないのだと社会に出てから実感しています。それほど興味がなかったことが実は向いていたり、思いつきや流れで担当したことが意外と楽しかった、ということも仕事には往々にしてあります。迷い試行錯誤しながらも経験を積み重ねていくと、ふと面白いと感じさせてくれる。色々なことを気づかせてくれるのが仕事というもので、それは生きていくうえでとても大事なことでと思うのです。私もアニメを仕事にするとは、最初は思いもしま

せんでしたが、元来アニメや映画が好きだったこともあり、飛び込んでみたことが今につながっています。「英語を使って仕事がしたい」という想いだけは一貫して持ちつつ、様々な経験を積んできて本当によかったと思っています。学生のみならず、在学時だけではなく社会に出てからも色々なことに挑戦し続けてほしいです。変化が訪れても臆することなく、むしろ全力でぶつかっていき、心から楽しめる仕事を見つけてほしいですね。

dwango

まどか
伊藤 円さん

【2001年 神学部卒業】

株式会社ダウンゴ CF事業部 ライツセクション

京都市出身。神学部に入ったのは、ヨーロッパの文化や映画に興味を持っていて、パイプオルガンの授業があると知ったことがきっかけ。高校の卒業時に初めての海外旅行でイギリスを訪れて好きになり、3年次の夏にはサマープログラムでヨーク大学に1カ月滞在。この経験が卒業後のイギリス留学につながった。現在、ニコニコ動画で配信するアニメの調達を担当。「自分が買付けたアニメが話題になって、たくさんの人に見てもらえた時はうれしい、達成感がありますね」。また、「アニメ配信だけでなくチャンスがあれば様々な海外案件に挑戦していきたい」と、好きな英語を駆使できる仕事への意欲は変わらず持ち続けている。



応援に行こう!～体育会試合日程

開催日時等は変更されることがあります。

【テニス部】

●12月1日(日)～8日(日) 全日本学生室内テニス選手権大会

会場：江坂テニスセンター

●12月4日(水)～8日(日) 関西学生ミニリーグ戦

会場：江坂テニスセンター

●3月4日(火)～11日(火) 関西学生新進テニストーナメント(本戦)

会場：万博テニスガーデン

【スピードスケート部】

●12月3日(火) 国体選考会

会場：京都アクアリーナ

●2月12日(水) クラブ対抗

会場：京都アクアリーナ

●2月22日(土) 全関西ショートトラック

会場：京都アクアリーナ

●3月1日(土) 関西学生ショートトラック選手権

会場：神戸ポートアイランド

●3月28日(金) 全京都

会場：京都アクアリーナ

第24回 同志社京田辺 クリスマス燭火讃美礼拝

クリスマスはキリストの誕生を記念し、すべての人々が愛と信頼によって結ばれる未来を待ち望む祝祭です。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもと、共にクリスマスの礼拝を捧げましょう。皆さんのご来場をお待ちしています。なお、礼拝では手話通訳が行われます。

【日時】12月14日(土)

開場 16:00 / 開演 16:30 (終了予定18:00) 入場無料

【会場】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)

【お問い合わせ先】京田辺校地キリスト教文化センター

TEL:0774-65-7370

アドベント*讃美礼拝・クリスマス礼拝

*アドベント(Advent)という単語は「到来」を意味するラテン語 Adventus (=アドベントゥス)から来たもので、イエス・キリストの降誕を待ち望む期間のこと(今年は12月1日から24日まで)です。

●今出川火曜チャペル・アワー (17:30～) 神学館礼拝堂

アドベント讃美礼拝 12月3日、10日、17日

クリスマス礼拝 12月24日

●今出川水曜チャペル・アワー (10:45～) クラーク・チャペル

アドベント讃美礼拝 12月4日、11日

クリスマス礼拝 12月18日

●今出川金曜ランチタイム・チャペル・アワー (12:35～)

同志社礼拝堂

アドベント讃美礼拝 12月6日、13日

クリスマス礼拝 12月20日

●京田辺水曜チャペル・アワー (10:45～)

キリスト教文化センター集会室

アドベント讃美礼拝 12月4日、11日

クリスマス礼拝 12月18日

●京田辺金曜ランチタイム・チャペル・アワー (12:35～)

キリスト教文化センター講座室

アドベント讃美礼拝 12月6日、13日

クリスマス礼拝 12月20日

【お問い合わせ先】

今出川校地キリスト教文化センター TEL:075-251-3320

京田辺校地キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

同志社 クリスマスキャンドルライトサービス

キャンドルの光のもと、皆さんで一つになって、イエス・キリストの誕生をお祝いしましょう。

【日時】12月23日(月・祝) 開場17:30 / 開式18:00 入場無料

【会場】今出川校地 同志社栄光館ファウラーチャペル

(女子大学・女子中高構内)

【主催】同志社クリスマスキャンドルライトサービス実行委員会

【後援】同志社中高・女子中高・国際中高・香里中高宗教部

同志社大学キリスト教文化センター・同志社女子大学宗教部

【お問い合わせ先】同志社女子大学宗教部 TEL:075-251-4141

2014年度 ローム記念館プロジェクト募集

京田辺キャンパスの正門すぐ横に位置する「同志社ローム記念館」では、IT、メディアテクノロジーを創造的に活用し次世代の文化創造を担う人材育成を目指して、館内で課外活動によるプロジェクトを展開しています。現在、2014年度に実施するプロジェクトテーマを募集しています。採択されるとプロジェクトルームが利用できる、必要経費が付与されるなど、1年間の活動に対するサポートを受けることができます。プロジェクト活動をとおして、仲間と一緒にチーム活動を行い新しいものやしくみを創り出す、そんな濃い1年間を過ごしませんか？

詳しい募集要項やプロジェクトに関する情報はローム記念館Webサイト (<http://rohm.doshisha.ac.jp/>)をご覧ください。

【2014年度プロジェクト活動期間】

2014年4月8日(火)～2015年3月16日(月)(予定)

【エントリー締切】2014年1月20日(月)17:00

【お問い合わせ先】ローム記念館事務室(京田辺校地総務課)

TEL:0774-65-7800

E-mail: jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

Hardience(ハーディー友の会)メンバー募集中!

同志社大学今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントをきっかけとして本学および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催しを盛り上げていただける方を募集しております。お申し込みは、今出川校地学生支援課窓口にて、随時受付中です。

【対象】一般・他学生(本学学生・教職員は対象外とさせていただきます)

【会費】無料

【特典】寒梅館イベント情報の郵送(希望者のみ)、案内メール配信、映画招待券やコンサート入場券のプレゼント(抽選)・入場料割引、学生団体による公演・お芝居等へのご招待、寒梅館レストランでの割引 etc.

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

集まろう同志社卒業生 第一回 同志社校友会 大懇親会

【日時】2014年2月15日(土)

【場所】国立京都国際会館

【受付開始】12時～(イベントホール)

【入場券】5,000円

【主催】同志社校友会

《スケジュール》

第1部 基調講演 13:30～

演題:「グローバル時代、同志社大学が目指すもの」

同志社大学学長 村田晃嗣

第2部 パネルディスカッション

「同志社ブランドの向上と戦略」(仮)

第3部 大懇親会 16:00～

詳しくは、同志社校友会ホームページまで

<http://www.doshisha-alumni.gr.jp/>

【お問い合わせ先】同志社校友会事務局

TEL:075-251-4393 FAX:075-253-2171

E-mail:doshisha.alumni@gmail.com



ハリス理化学館同志社ギャラリー 第1回企画展「新島襄と八重」開催について

同志社ギャラリーの開館を記念し、第1回企画展として「新島襄と八重」を開催します。

【期間】2013年11月29日(金)～2014年2月28日(金)

【閉館日】火曜日、祝日、2013年12月23日(月・祝)～2014年1月5日(日)、2月3日(月)、4日(火)

【開館時間】10:00～17:00

【場所】ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室

【主催】同志社社史資料センター

【協力】福島県、会津若松市、福島県立博物館、若松城天守閣郷土博物館、日本基督教団、同志社教会

【構成】

●第1章 「それぞれの道」11月29日(金)～12月22日(日)

●第2章 「2人の14年間」1月6日(月)～2月2日(日)

●第3章 「八重の後半生」2月5日(水)～28日(金)

【お問い合わせ先】同志社社史資料センター TEL:075-251-3042



WOT(ワット)＝"What's On Thursdays!"

「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。

【会場】寒梅館ハーディーホール

【料金】本学学生・教職員はすべて無料/一般は有料

●12月5日(木) ゴンチチコンサート

【お問い合わせ先】エースプロモート TEL:06-6341-1171

●12月12日(木) 映画上映 *詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※ 内容は都合により変更となる場合があります。

詳細はお問い合わせください。



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールでは、映画史に残る名作を中心に様々なイベントを開催します。

【会場】寒梅館クローバーホール(地階)

【料金】本学学生・教職員はすべて無料/一般は催しにより有料

●12月3日(火) 映画上映*詳細未定

●12月10日(火) 映画上映*詳細未定

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※ 内容は都合により変更となる場合があります。

詳細はお問い合わせください。

♪観に行こう聴きに行こう♪

—学生団体12月～1月の活動予定—

【学内】

●12月4日(水) 学生保健部会「献血」 今出川 明徳館西側

9:00～16:00 無料

●12月5日(木) 学生保健部会「献血」 京田辺 ラーネッド記念図書館裏

10:00～15:30 無料

●12月7日(土) コール・フリューゲル「第47回定期公演会」

寒梅館 ハーディーホール 17:00～(16:30 開場) 500円

●12月10日(火)～13日(金) 華道サークル～日花里～「華展」

京田辺ラウンジ棟ギャラリー 終日 無料

●12月15日(日) 雅楽会「第20回定期公演会」

寒梅館 ハーディーホール 17:30～(17:00 開場) 無料

●12月21日(土) 応援団「ATOM FESTIVAL 2013」

寒梅館 ハーディーホール 16:00～(15:30 開場) 無料

●12月21日(土) Shinmachi Activate Project

「新町祭～20000本のキャンドルナイト～」

新町キャンパス 18:00～21:00 無料

●1月19日(日) アカペラサークルOneVoice

「Winter Live 2013 Voices Jump!」

寒梅館 ハーディーホール
17:30～(17:00開場) 一般1,000円・本学学生500円

【学外】

●12月8日(日) 学生混合合唱団C.C.D「第61回定期演奏会」

長岡京記念文化会館
15:00～(14:00 開場) 500円(未就学児無料)

●12月14日(土) 応援団吹奏楽部「第44回定期演奏会」

八幡市文化センター大ホール 14:00～15:30 無料

●12月21日(土) 能楽部宝生会「秋期京都宝生流学生能楽連盟自演会」

大江能楽堂 14:00 頃開場 無料

●12月22日(日) 混声合唱団こまぐさ「第44回定期演奏会」

高槻現代劇場大ホール 15:00～(15:30開場) 1,000円

「第18回全日本高校・大学生書道展」で大賞受賞

結果に驕ることなく、人の心に届く字を書いている

自分自身記憶はないのですが、小さい時から

字を書くことが好きだったようです。姉が書道教室に通っていたこともあって、4歳から習い始めたのですが、両親にどうしても行きたいと自分から言い出したそうです。文字を自分なりに工夫して書くことを繰り返していくうちに結果も出るようになり、初めて大きな賞をいただいたのが小学校2年生の時でした。でも、書いて褒められるのがうれしいということはあまりなかったんです。自分の納得できる字が書けなくて、ずっと座り続けているとだんだん下手になっていくのがわかるんですね。やめたいけど書けないのが悔しいからやめられない。だから悔しくて泣いたことが何度ありました。

中学校から書道部に入り、同志社大学には書道をアピールポイントにして自己推薦で入学しました。新島襄の残した「偶儻不羈」の考え方に共感したことが理由です。心理学部を選んだのは、書道に通じるところがあるからです。書道はきれいに書くことが大事なのではなく、下手でもいいと思っています。書道を知らない人を見て、何を書いているのかわからないけれど、訴えかけるものがある、そう感じてもらうことが書く方にとってはうれしいのです。これが正解というものはなく、私は上手な字よりも、書いた人自身が表れている字の方が好きです。字を見てその人の本質がわかる時もあります。心理学で人の心を学ぶことと書道とは共通する部分がたくさんあると思います。

今回、大変大きな賞を

いただきましたが、それが目標だったというわけではありません。小さい時から褒められて喜ぶというわけではなかったように、私としては自分の

書きたい字が書けたら一番いいんです。第三者の評価というものは、もちろん励みになることが多いですが、時として成長や上達の妨げになったり、結果次第で振り回されたりすることもあります。だから、賞をいただいても、それで驕ってはいけないと思います。あえて目標といえば、人の心に届く字を書きたいということです。ある展覧会で「天体の図に見える」という方がいらしていました。見方は人それぞれですから、私は、字を見て何かを感じてもらえたらいいと思うのです。見た人の心に何かを残すことができれば、それが一番です。

個人的に賞を獲得ことは目標ではありませんが、書道部の部長をしていますので、部でいい成績を残すことは目標です。年3回ある書道部の大会で入賞できるように頑張っていきたいと思っています。また、書道は大学から始める人もたくさんいますから、できるだけ多くの人に書道の奥深さを知ってほしいですね。



「第18回全日本高校・大学生書道展」大賞受賞作品

氏原 令賀さん
【心理学部 3年次生】

